



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年10月31日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社トプコン
 コード番号 7732 URL <https://www.topcon.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平野 聡
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼上席執行役員 (氏名) 秋山 治彦 (TEL) 03-3558-2536
 財務本部長
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	69,527	△1.1	3,810	△27.7	2,761	△41.8	895	△58.3
2019年3月期第2四半期	70,271	3.3	5,268	15.3	4,742	16.0	2,146	15.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 △1,162百万円(-%) 2019年3月期第2四半期 5,154百万円(△0.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	8.47	8.47
2019年3月期第2四半期	20.25	20.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	152,889	67,347	42.9	624.23
2019年3月期	160,288	71,148	43.1	651.11

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 65,644百万円 2019年3月期 69,037百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2020年3月期	—	14.00			
2020年3月期(予想)			—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	0.9	12,500	△8.1	10,500	△8.7	6,000	△8.4	56.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 10「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	108,130,842株	2019年3月期	108,105,842株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,969,025株	2019年3月期	2,074,411株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	105,782,914株	2019年3月期2Q	106,017,475株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在における将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期における経済環境は、米国経済は底堅く推移しているものの、中国を始め、欧州・新興国の各国での経済の成長鈍化や、米中貿易摩擦の長期化等を背景に、先行きは非常に不透明な状況が続いております。

このような経済環境にあつて当社グループは、『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を経営理念に掲げ、持続的な企業価値向上の実現に取り組んでまいりました。

こうした中で、当第2四半期の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

売上高は、69,527百万円となり、前年同期と比較して、世界的な景気減速の影響や為替の影響等により△1.1%の微減となりました。

利益面では、研究開発費等の先行投資や為替の影響等により、営業利益は3,810百万円（前年同期と比べ△27.7%の減少）となり、経常利益は為替差損の計上等により2,761百万円（前年同期と比べ△41.8%の減少）となりました。また、子会社株式の売却に伴う特別損失を計上したこと等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は895百万円（前年同期と比べ△58.3%の減少）となりました。

（事業セグメント毎の経営成績）

スマートインフラ事業では、中国及びアジアを中心に販売が減少したこと等により、売上高は17,057百万円（前年同期と比べ△6.3%の減少）となり、営業利益は、この売上高の減少等により2,492百万円（前年同期と比べ△12.7%の減少）となりました。

ポジショニング・カンパニーでは、農業市場の低迷によりIT農業製品の販売が減少した一方、ICT自動化施工システムの販売が堅調に伸長したこと等により、売上高は37,116百万円（前年同期と比べ0.3%の増加）となりました。営業利益は、研究開発費等の先行投資や、中国製品に対する米国での関税増加による影響等により2,850百万円（前年同期と比べ△23.8%の減少）となりました。

アイケア事業では、主にスクリーニング向け及び中国市場での販売伸長により、売上高は22,202百万円（前年同期と比べ1.7%の増加）となりましたが、営業利益は、スクリーニングビジネス及び中国事業の拡大への先行投資及び為替の影響等により616百万円（前年同期と比べ△3.1%の減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①当第2四半期の財政状態の状況

当第2四半期末の財政状態は、総資産が152,889百万円、純資産が67,347百万円、自己資本比率が42.9%となりました。総資産は、たな卸資産等が増加したものの、売上債権や固定資産等が減少したこと等により、前期末（2019年3月期末）に比べ、7,398百万円減少いたしました。また、純資産は、自己株式や為替換算調整勘定等が減少したことにより、3,801百万円減少いたしました。これらの結果、自己資本比率は、前期末（2019年3月期末）から0.2%の減少となりました。

②当第2四半期のキャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間（6ヶ月）における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、営業活動によるキャッシュ・フロー等の「資金」の増加があつたものの、固定資産の取得等による「資金」の減少により、前年度末に比べ、184百万円減少し、12,751百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間における営業活動による「資金」の増加は、5,617百万円（前年同期は8,269百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益に非資金項目となる減価償却費等を調整した収入や売上債権の減少等による「資金」の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における投資活動による「資金」の減少は、2,160百万円(前年同期は3,854百万円の減少)となりました。これは主に、固定資産の取得による支出2,793百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間における財務活動による「資金」の減少は、3,320百万円(前年同期は3,148百万円の減少)となりました。これは主に、配当金の支払額1,272百万円や自己株式の取得による支出1,078百万円等による「資金」の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年7月31日に開示しました前回予想時から、アイケア事業のスクリーニングビジネスの拡大が見込まれるものの、世界的な景気減速の影響や為替動向の影響を受けることが予想されることから、通期の業績予想につきまして以下のように修正いたします。

2020年3月期通期(累計) 連結業績予想 (2019年4月1日～2020年3月31日) (単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益(円)
前回発表予想(A)	154,000	14,500	12,500	8,000	75.45
今回修正予想(B)	150,000	12,500	10,500	6,000	56.72
増減額(B-A)	△4,000	△2,000	△2,000	△2,000	△18.73
増減率(B-A)÷A	△2.6%	△13.8%	△16.0%	△25.0%	△24.8%
(ご参考)					
前年度実績(C)	148,688	13,596	11,497	6,548	61.76
増減率(B-C)÷C	0.9%	△8.1%	△8.7%	△8.4%	△8.2%

今後の業績推移、市況動向を注視し、業績予想を見直す必要が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,894	13,372
受取手形及び売掛金	45,609	39,443
商品及び製品	18,509	19,439
仕掛品	1,377	1,412
原材料及び貯蔵品	11,254	11,708
その他	7,608	6,963
貸倒引当金	△2,098	△2,008
流動資産合計	96,154	90,332
固定資産		
有形固定資産	16,950	19,372
無形固定資産		
のれん	13,162	11,792
その他	19,252	17,191
無形固定資産合計	32,415	28,984
投資その他の資産	14,767	14,200
固定資産合計	64,133	62,557
資産合計	160,288	152,889
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,990	10,510
1年内償還予定の社債	—	10,000
短期借入金	13,563	18,180
リース債務	641	1,361
未払法人税等	1,420	489
製品保証引当金	1,069	1,192
その他	15,675	14,266
流動負債合計	44,360	56,002
固定負債		
社債	20,000	10,000
長期借入金	10,497	5,093
リース債務	3,853	5,381
役員退職慰労引当金	57	41
退職給付に係る負債	6,391	5,385
その他	3,979	3,638
固定負債合計	44,779	29,539
負債合計	89,139	85,542

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,658	16,680
資本剰余金	20,819	20,841
利益剰余金	37,595	37,218
自己株式	△2,091	△3,170
株主資本合計	72,981	71,570
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	879	1,040
繰延ヘッジ損益	5	5
為替換算調整勘定	△3,776	△6,005
退職給付に係る調整累計額	△1,051	△966
その他の包括利益累計額合計	△3,943	△5,925
新株予約権	47	32
非支配株主持分	2,063	1,670
純資産合計	71,148	67,347
負債純資産合計	160,288	152,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	70,271	69,527
売上原価	33,237	32,555
売上総利益	37,034	36,972
販売費及び一般管理費	31,765	33,161
営業利益	5,268	3,810
営業外収益		
受取利息	119	103
受取配当金	21	31
持分法による投資利益	—	9
その他	195	101
営業外収益合計	336	246
営業外費用		
支払利息	557	472
持分法による投資損失	44	—
為替差損	25	578
その他	235	245
営業外費用合計	862	1,295
経常利益	4,742	2,761
特別利益		
債務消滅益	148	—
特別利益合計	148	—
特別損失		
子会社株式売却損	—	555
固定資産除却損	497	—
特別退職金	150	—
関係会社退職給付制度終了損	231	—
特別損失合計	879	555
税金等調整前四半期純利益	4,012	2,205
法人税、住民税及び事業税	1,761	776
法人税等調整額	3	548
法人税等合計	1,764	1,324
四半期純利益	2,247	881
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	100	△14
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,146	895

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	2,247	881
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	189	161
繰延ヘッジ損益	△9	0
為替換算調整勘定	2,375	△2,280
退職給付に係る調整額	350	85
持分法適用会社に対する持分相当額	1	△10
その他の包括利益合計	2,907	△2,043
四半期包括利益	5,154	△1,162
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,999	△1,086
非支配株主に係る四半期包括利益	154	△75

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,012	2,205
減価償却費	2,763	3,051
のれん償却額	1,110	1,012
貸倒引当金の増減額(△は減少)	67	△30
受取利息及び受取配当金	△140	△135
支払利息	557	472
子会社株式売却損益(△は益)	—	555
債務消滅益	△148	—
固定資産除却損	497	—
特別退職金	150	—
関係会社退職給付制度終了損	231	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△152	△863
売上債権の増減額(△は増加)	5,288	4,845
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,618	△2,122
未収入金の増減額(△は増加)	526	846
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,451	△1,151
未払金の増減額(△は減少)	39	△834
未払費用の増減額(△は減少)	535	△287
その他	△1,965	518
小計	10,302	8,082
利息及び配当金の受取額	147	144
利息の支払額	△557	△472
特別退職金の支払額	△150	—
法人税等の支払額	△1,473	△2,137
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,269	5,617
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△710	△286
定期預金の払戻による収入	1,288	590
有形固定資産の取得による支出	△2,074	△1,653
有形固定資産の売却による収入	32	117
無形固定資産の取得による支出	△955	△1,139
投資有価証券の取得による支出	△100	△1
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,473	—
事業譲渡による収入	253	—
長期貸付けによる支出	△122	△5
その他	8	216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,854	△2,160

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,463	2,524
長期借入金の返済による支出	△4,231	△2,770
リース債務の返済による支出	△320	△669
配当金の支払額	△1,060	△1,272
自己株式の取得による支出	△0	△1,078
その他	—	△54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,148	△3,320
現金及び現金同等物に係る換算差額	431	△320
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,698	△184
現金及び現金同等物の期首残高	12,698	12,935
現金及び現金同等物の四半期末残高	14,397	12,751

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループのIFRS適用子会社は、第1四半期連結会計期間より、国際財務報告基準第16号「リース」(以下「IFRS第16号」という。)を適用しております。これによりIFRS適用子会社においては、リースの借手は、原則として全てのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上することとなりました。IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている本基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。この取扱いにより、当第2四半期連結会計期間末において、「有形固定資産」が2,556百万円増加し、流動負債の「リース債務」が721百万円、固定負債の「リース債務」が1,826百万円、それぞれ増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	スマートインフラ 事業	ポジショニング・ カンパニー	アイケア事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,899	34,736	21,701	933	70,271	—	70,271
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,308	2,281	126	0	7,716	△7,716	—
計	18,207	37,018	21,828	934	77,988	△7,716	70,271
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,856	3,740	636	△17	7,216	△1,947	5,268

(注) セグメント利益の調整額△1,947百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	スマートインフラ 事業	ポジショニング・ カンパニー	アイケア事業	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,066	34,711	22,063	686	69,527	—	69,527
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,991	2,405	139	0	7,535	△7,535	—
計	17,057	37,116	22,202	686	77,063	△7,535	69,527
セグメント利益又は セグメント損失(△)	2,492	2,850	616	△62	5,897	△2,086	3,810

(注) セグメント利益の調整額△2,086百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	合計
海外売上高	21,528	17,317	3,848	8,087	4,809	55,590
連結売上高						70,271
連結売上高比(%)	30.6	24.6	5.5	11.5	6.8	79.1

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・ オセアニア	その他	合計
海外売上高	20,816	16,755	4,141	6,978	5,640	54,333
連結売上高						69,527
連結売上高比(%)	29.9	24.1	6.0	10.0	8.1	78.1

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分に所属する主な国又は地域の内訳は以下のとおりであります。

中南米、中東、ロシア、アフリカ